



“心豊かに  
笑顔あふれる”

青森県  
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.  
100

平成26年 12月19日

# 職場体験では 子供達に企業選択は いらない!?

清川メッキ工業株式会社  
専務取締役  
清川 卓二氏



平成26年9月18日(木)  
県総合社会教育センターにて  
「教育CSRセミナー」が  
開催されました。



「企業にとっての“キャリア教育”～教育CSR\*1による企業メリット～」の演題で清川メッキ工業株式会社\*2専務取締役清川卓二氏に講演いただき、その後直撃インタビューをしました。

Q職場体験を行う際、小学校や中学校では子供達に企業選択をさせない方がいい?

職場体験では、**企業選択をまったくさせなくていい**と思っている。高校は『ものづくり』とか『サービス』とかそういった職業選択はしてもいいが、企業選びは絶対させない方がいい。小、中学生は『パン屋さんがいい』など名前を選んでしまうことが多い。名前で選ぶ子供達には、企業は『お客様扱い体験』をさせるだけである。『パン屋さんに行きたい』と思ってきた子は、一生懸命頑張るが、そうでない子はテンションが低く、企業は持ち上げるところから始まる。**企業選択、職業選択をさせずに、学校側が新たな、未知なる体験をさせて、今までにない新しい経験をすることによって、『何か自分で見つけ出さなさい』と送り出してもらった方が企業側はすごく受けやすい。**

Q「あなたはこの会社ですよ」と割り振った方がいいということですか?

協力しようと考えている企業の意欲を生かすためにも割り振った方がいい。なぜなら子供達は人気のある企業に集中し、子供達が知らない企業にはまったく来ない。**職業を選択することは子供達や企業、地域にとって何のメリットもない。**

Q割り振ると、おもしろかったという子もいるし、これ違うなという子もいますよね?

それもいいのです。**「自分に合わなかった」でもいいのです。**みんなで帰って話し合うことが大切。5人行って5人が嫌な思いをするかもしれないが、決してそんなことはない。5人のうち1人はよかったという子もいるはず。大切なのは企業側にも情報をフィードバックしていくこと。**大学生であっても3万ある職業から30も職業をいうことができない。その中で職業を選択させていること自体の矛盾に気がつかないと、非常におかしいことになってくる。**私はこれをずっと訴えている。

Q県や企業にアドバイスをお願いします。

キャリア教育には「職場体験」や「出前講座」など様々あるので、企業にあつものをまずは1回経験してみるとよい。そのためには、県とかがお試して1回経験できる場を作ってあげると企業も参加しやすい。**企業のプラスが子どもたちのプラスになり、相乗効果的な感じで双方が伸びていく。**

#### \*1「教育CSR」

CSR (Corporate Social Responsibility) = 「企業の社会的責任」のうち教育現場への出資や講師派遣・授業用教材の開発・職場体験プログラムの実施など、企業が社会を構成する一員として主に教育活動に参加すること。

#### \*2清川メッキ工業株式会社

福井県福井市にあるメッキ専業企業。今年で創業51年となる。  
1997年から「メッキ教室」を17年間で280回実施  
2005年度 「元気なモノ作り中小企業300社」に選定  
2011年度 キャリア教育アワード メッキ教室優秀賞受賞  
2014年度 「おもてなし経営企業選」に選出

# 講座受講生のビフォーアフター（第1回）

わにっこおもてなし隊 代表

原子 麻美 さん

平成25年度「絆でつながる家庭教育支援セミナー」受講生

## 子育て中のママが元気だと 家族が元気！地域も元気！



Q なぜこの講座を受講しようと考えましたか？

「大鰐町赤ちゃん子育てサークルわにっこクラブ」の代表の方に勧められたのがきっかけでした。子育てと地域の関わりにも興味があったので受講してみようと思いました。

Q 講座を受講した前後で、何か変わりましたか？

子育てをしている私が、**今地域のためにできることは何かと考えるようになりました。**また、子育て中の世帯にとって何が不足しているのか考えるようにもなりました。答えを探すという訳ではないのですが、町の行事にも興味関心を持つようになって、積極的に取り組むようになりました。

Q 講座を受講した後で、講座内容を参考にして実践したことについて教えてください。

昨年講座で実施した「男子厨房に入って料理を作ろう！」を今年も行いました。お父さんは家族のお弁当作り、お母さんは花育体験（フラワーアレンジメント）を行い、最後にお弁当を家族で食べるという企画でした。当初は外でお弁当を食べようかと考えたのですが、11月は寒いので室内でとなりました。

地域の特性を生かすこと、地域のいい所、課題となるところが見えてきたので、**それをどのように工夫していくかを考えながら企画、実践してみよう**と思います。



Q 特に気をつけたことは？

参加したみんなが楽しめるようなイベントにしようと考えました。特に、ママ達の負担にならないようにしようと思えました。また、大鰐町でしかできないことを意識して、**講師は地元の方**にお願いしました。

Q 今後してみたいことは？

**子育て中のママが元気だと、家庭が元気、町が元気**だと思うので、そのようになるようにサポートしていきたいです。そのためには、定期的に町でイベントを開催していきたいし、できれば町外の家族を巻き込んで、大鰐町の良さを知る機会を作っていきたい。いろんな団体と関わりを持ちながら、地元にこだわりをもっていきたいし、ちょっと大げさかもしれないけど、子供達が、「**この町に生まれ育って良かったな**」と思える、誇りが持てる町にしていくサポートもしてみたい。本当にしてみたいことが沢山あります。

Q これから支援者を目指したいと思っている人へのメッセージをお願いします。

長女の子育てを始めたときは、まったく外とのつながりが持てませんでした。でも、講座を受講してから、イベントの基本的な運営の仕方や進行の仕方がわかり、様々な人と交流をすることができて、視界が「パツ」と開け、**生活が一変しました。**そして、**以前よりも地域について深く考える**ようになり、積極的に行動するようになりました。イベントを行うたびに自分がレベルアップしていくのを感じます。課題も沢山ありますが、やりたいことも沢山あります。皆さん一緒に頑張りましょう！！

# 「ちびっ子海賊の佐井村まち探検」

## ～佐井村の家庭教育支援～

### 「ちびっ子海賊の佐井村まち探検」

10月11日、「病気になった大海賊を助けるために、仏ヶ浦へ行き、伝説の水と薬を手に入れる」というストーリーで、村内の幼児から小学生約30人が海賊に扮して、船で仏ヶ浦へ移動し探検をしていくというイベントが行われました。

弘前大学生涯学習教育研究センター講師・深作拓郎先生によると、「佐井村の『ちびっ子海賊の佐井村まち探検』事業は、佐井村教育委員会、佐井村子育てサークル『ぽぶり』、弘前大学生涯学習教育研究センターの3者の共催によって行われる**全国でも例が少ないもの**である。」とコメントしています。

### 支援者の感想



佐井村保育所所長（大海賊）

「異年齢で、グループを作って、その目標をみんなで達成しようとする試みが、**幼児も含めて行われていた**のでよかった。」



佐井村地域おこし協力隊  
（佐井村非公認キャラクター・**偽雲丹（にせうんたん）**）

「**子供達の安全を守りながら**というのが大変でしたが、無事終わることができてよかったです。」



佐井中学校  
（中学生ボランティア）

「大人の方から小学生や保育園児まで参加していて、こういう風にみんなで何かするという**貴重な体験**ができて本当によかったです。」

### 支援してくれた方々（団体）

- ・弘前大学「らぶちる」\*1・佐井村教育委員会
- ・佐井村子育てサークル「ぽぶり」 ・保護者
- ・佐井村役場 ・佐井村地域おこし協力隊
- ・佐井村保育所 ・学生ボランティア



### 取材の感想

海賊になりきった子供達が、佐井村の名所である仏ヶ浦に足を踏み入れて、村の良さや今まで気づかなかった新たな発見をしていました。（実際宝を発見した場所は、地元の保護者でもあまり訪れたことがない場所です。）

それは、「子供達の親分である大海賊の病気を助けるため、グループの仲間と共に様々なミッションをクリアしながら薬と水を獲得するというストーリー、小道具までこだわった『らぶちる』メンバーの思い」があったからです。**子供達は遊びを通して仲間と協力して目的を達成するという楽しさを存分に味わっていました。**

参加した子供達のほとんどがリピーターで、「**来年もまた参加したい**」と言うほど、本当に楽しく活動していました。

そして、佐井村の子供達を真ん中において、様々な方々が支援（サポート）をしていたのが印象的でした。

深作先生は「解散場所の駐車場に到着して、バスを降りるときに**魔法が解けたか**のように子供達の表情が変わった。降りるまでは子供達は海賊だった。」と、この事業の魅力を語っていました。

佐井村教育委員会藤井健社会教育主事は「子育てサークルが中心となり、地域の人たちが、子供達を真ん中に置いた地域の人向けに行う行事として定着するのではないかと考えています。地域の人がボランティアでやっているからこそ価値があるように思います。」と感想を述べていました。

「地域の子供たちが協力していきいきと活動できるように地域の大人で企画する」このような形の家庭教育支援があってもいいのかなと感じる事業でした。

年度末には、当センターのホームページ上で、家庭教育支援コンテンツの子育てサークル「ぽぶり」の取組作品として公開します。是非視聴してみてください。

\*1 弘前大学「らぶちる」

「Love for children」の略称。「子どもの学校外教育」の支援を中心とした学生の地域社会参加活動を大学生13人と教員1人で行っている。

# やってみよう！アイスブレイク

★できる！役立つ！楽しい！ ★講座・研修会・仲間づくりの場で！

## ○ アイスブレイクって？

アイス＝氷(不安や緊張)ブレイク＝溶かす。その言葉通り、緊張を解きほぐすために行う活動です。抵抗感や緊張感から解放され、安心感を持ち、参加者同士の信頼感がアップする効果が期待できます。

## ☆「キャッチ」(5～10分、何人でも、広いスペース)



「キャッチ」の動画は  
こちらからご覧になれます。



### ●すすめかた●

- (1) みんなで顔が見えるように円をつくります。
  - (2) 両手を軽く横に出します。
  - (3) 左手の人差し指と親指で輪を作り、卵を持つように軽く握り、右手の人差し指を立てて、隣の人の左手の輪の中に上から入れます。(写真1)
  - (4) ファシリテーターが「キャ・キャ・キャ・キャ…キャッチ！」と言った瞬間に、右手の人差し指を輪から引き出すと同時に、左手は相手の人差し指を逃がさないようにつかみます。あまり強くつかんで怪我をしないように注意しましょう！
- ※ 慣れてきたら、左右を逆にするとか、「キャ・ベツ」とか、「キャ・ラメル」などの違う言葉を入れます。〈例〉キャット、キャンディー、キャスト、キャップ、キャロット
- ※ さりげない話の中に、急に「キャッチ」を入れると効果的です。

### ★ポイント★

逃げる方の人差し指を上から、入れて、上に逃げるようにします。下に逃げるよりも、はっきりした動作が必要です。フェイントを多くしすぎると、参加者に嫌気がさしてくるので気をつけましょう。

## ☆「イメージ」他己(たご)紹介」(10～20分、2人以上、教室程度のスペース)

### ●すすめかた●

- (1) グループで、顔が見えるように円になり、簡単な自己紹介をします。  
「○○○の◇◇◇です。よろしくお願いします。」
- (2) 2人1組になり、「相手について、イメージで」グループ全員に紹介します。  
何を想像してもOK。人柄や趣味について、楽しくイメージし、紹介します。  
《例》Aさんは「好きなアーティストはサザンです。」 ※演歌が好きかもしれないけれど！  
「趣味は格闘技です。」 ※か弱そうに見えても！  
「海外に20回行っています。」 ※0回と思っても！
- (3) 本人からの補足説明や訂正をしながら「自己紹介」をします。



「イメージ」の動画は  
こちらからご覧になれます。

### ★ポイント★

相手が嫌がるような紹介はNGです。相手の見た目や簡単な自己紹介をした際の印象での、「ホメ言葉」を必ず入れましょう。そうしないとアイスブレイクにならず、逆に殺伐とし、緊張感が増します。



## 青森県総合社会教育センター

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

「この印刷物は2,500部作成し、印刷経費は1部当たり30円24銭です」